

**ビル用マルチエアコンなど、個別パッケージ空調の
エネルギー消費量、運転コスト、CO2 排出量などを
正確に計算できる画期的なシミュレーションツールです。**

ビル全体のシミュレーションから
空調システム単位でのシミュレーションまで、
システム検討の詳細の程度に応じて幅広く、
しかも自在な対応ができます。

**設計者待望のツールが
登場しました!**

「お客さまサイト」からダウンロードした
機器性能データをセットするだけで、
様々なシステムを簡単にシミュレーション
できます。



ここがすごい! エネプロ21マルチ

正確

エネルギー計算は、
熱負荷と室内外温度・湿球温度、室外機・室内機の運転状態をもとに
1時間きざみで行われ、年間のエネルギー消費量（電気、ガス）を
集計します。

簡単

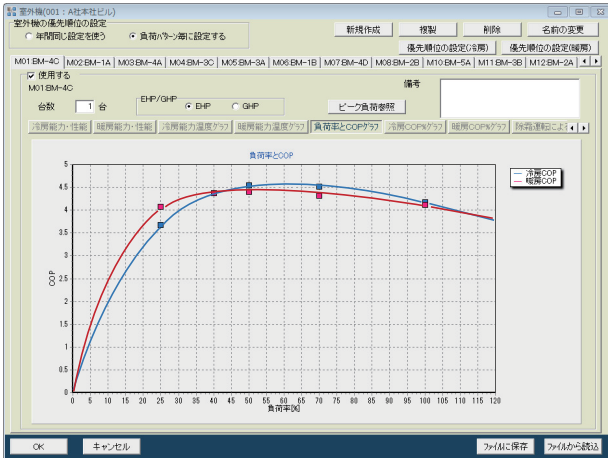
お客さまサイトのダウンロードデータには、
① 室外機・室内機の機器性能データ、
② 電力会社のCO2・NOx・SOx 排出係数などの環境負荷データ、
③ 電力料金データ、全国28地点の外気温度・湿球温度データがあり、
順次更新しています。

速い

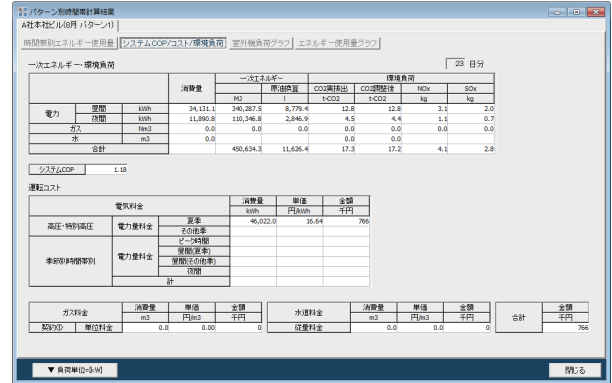
室外機（EHP、GHP）の性能データは、
部分負荷特性、外気温度特性、暖房運転時の除霜運転特性などを含みます。
（メーカーデータをもとに当社が不足部分を文献などから推定・補足したデータです。）

すべての出力帳票は Excel ファイルで、出力グラフは画像ファイル（JPG）で
エクスポートすることができます。

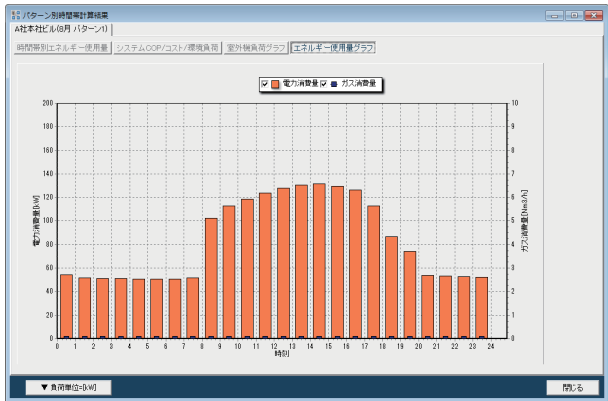
■ 室外機の性能



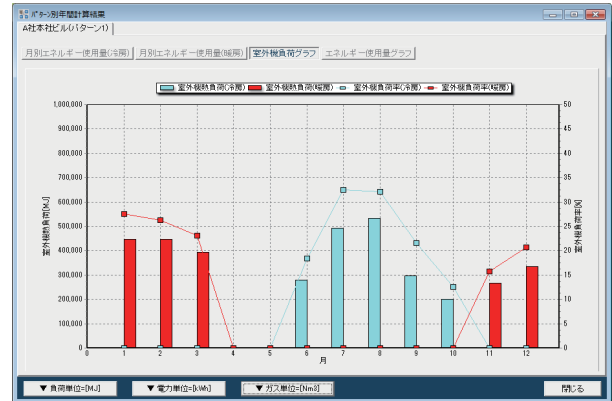
■ システムCOP/ コスト / 環境負荷



■ エネルギー使用量グラフ (時間帯別)



■ 室外機負荷グラフ (年間)



■ きめ細かい設定がシミュレーションの精度を高めま

- ① 冷媒配管相当長、室内外機の高差による能力補正を、内部データを使用して簡単に設定できます。
- ② 冷媒配管の熱ロスを設定することができます。
- ③ 冷房時の室外機への散水効果を評価することができます。
- ④ 排気の回り込みを考慮して室外機の吸い込み温度を、外気温度 + α で設定することができます。
- ⑤ 室外機の数制御運転をシミュレーションすることができます。* 1
- ⑥ 室外機の COP の経年劣化を設定することができます。
- ⑦ 運転時間や稼働率など、室内機の運転状況をこまめに設定することができます。

■ 動作環境 — 一般的なノートパソコンで十分に使えます

- 基本ソフトウェア : Windows 10/10Pro 日本語版 8.1/8.1Pro 日本語版
- コンピュータ本体 : CPU : Intel Pentium4 2.8GHz 以上推奨 メモリ : Windows 10/8 ご使用の場合 4GB 以上
- USB I/F : コネクタ TypeA、USB 2.0 準拠
- ハードディスク : 30MB 以上の空き容量 モニタ : 解像度 1024 X 800 以上推奨
- ソフトウェア : Microsoft Excel 2010以降がインストールされていること

充実! ENEPRO21 ラインナップ

セントラル方式熱源設備
エネルギーシミュレーションソフト
Enepro21

ビル用マルチエアコン
シミュレーションソフト
Enepro21multi

熱負荷作成ソフト
Estel21

- * 1 冷房・暖房の室外機の数制御の設定
- ① 使用設定機の全運転
 - ② 優先順位による運転
 - ③ 台数制御 (最大能力以上で次優先機を運転)
 - ④ 台数制御 (負荷率を設定して次優先機を運転)

* 本ソフトのインストールには光学ドライブが必要です